



114
A 120
100

大正十一年四月
贈

一藩大中山三守等。分々奉

一現五十六万石以上大藩に

一又石以上中藩トシ止万石

已下小藩トス

一實更敷ヨリ以右高の程スヘシ

但雜稅ハ右相場ヨリ以悉

全リテ現石高ニ納スル

一藩廳 知事 大分事

推分事 小分事

社 函

Handwritten text on a separate slip of paper, partially obscured.

刑部局 監察局

学少校

右局

去地

下

Vertical handwritten notes on the left side of the page.

小藩ニ到テ成ヘキ合局

スル事

114
A 120
100

大正十一年四月
大隈侯爵郵寄贈

一藩大中山三守等。分年

一現五十六万云以上大府

一又石以之中府トシ止万石

一已下小藩トス

一安貞ノ叔ヲ以右高ノ稱スヘシ

一但雜稅ハ右相場ノ以悉

一金リトシ現石高ニ結スヘシ

一藩廳 知事 大参事

推参事 小参事

社寺局 會計局

函政局 軍事局

刑務局 監獄局

學務局

右各局之儀并藩大小

去地ノ廣狭ニヨリ多寡

一凡一し藩ニ適宜ニ任スル

一小藩ニ到テ成ヘキ合局

スルニ事

局名ニ寄理
後ノ藩兵
各事ノ結

理事ノ要財政ヲ修
一歳ノ入ヲ公算シ
スヘシ且其費用ノ
日途ヲ定メ早
達スベシ

大正十一年四月
侯爵郵寄贈

中山三守分年

二十万云以上大府

以之申藩トシ出万石

小藩トス

叔司以右高の稱スヘシ

雜稅ハ有相場ノ以在

之ノ現石高ニ依リ

知事 大府

知事 小府

知事 小府

知事 小府

知事 小府

知事 小府

知事 小府

向之儀ハ諸大小

廣校ニヨリ多寡

藩ニ適宜ニ任ス

到テ成ヘキ合而

局長・官理・租稅・地方官
諸・藩兵・二限・類・推
各事・結・配・向・方・バ

理事ノ要財政ヲ修ムニアリ故ニ藩ニ
一歳ノ入ヲ公算シテ費用ニ配當
スヘシ且其費用ノ如キハ預メ部
日途ヲ定メ早リ已ニ大藏省ハ
達スベシ

小藩三到十 成八ヶ台局

八ヶ台

一並之條 大寺寺

右中小藩比一ヶ台八ヶ台

大寺寺

大藩四人 中藩三人

小藩二人

寺寺

寺寺

大寺小藩比多句多室方ヨリ

藩邊迄仕又し小藩三到

合句八ヶ台寺寺

大

寺

請

一

一並二條之藩士福割藩

小藩三到十成八ヶ台局

八ヶ台局

一並之條 大専事

右中小藩比一ヶ台局

大専事

大藩四ヶ人 中藩三ヶ人 或四ヶ人

小藩二ヶ人 或三ヶ人

少専事

任専事

大中小藩比多局多専事

藩之遠近任之し小藩三到六

台局比人少専事

大属任大属 少属

少属任少属 史生

諸官身成大減少致合

少人職員

少専事 少専事

一並二條之藩士福利

知子し支控
関あり者を知
給じしれし知
等給じしれし
任方其より下
門地あり者へ
存ありへから

清に到り成へる合局

二條 大者事

中少属比ふ少者事

大者事

清四人 中少属三人 或四人

清二人 或三人

少者事

少者事

小少属比ふ多者事

通定に任へし少属に到る

少者事

属程大属 少属

属程少属 史生

少者事

少人 職員

少者事

二條之清士福利属

知りし支族ありし門
洞ありし者を知りし以上
修せししつ知方属以上
等修せしし
任方属以下より
門地ありし者へ修せしし
存方へかラス

多入職員

一 宗卷亦被 宗後

一 宗二條 宗士福利属之

一 宗三條 宗色丸へし

一 宗三條 官福利 先づ属

一 宗四條 宗色丸へし

一 宗四條 宗色丸へし

刑入りへし

一 宗五條 宗色丸へし 宗色丸

一 宗六條 宗色丸へし

宗色丸へし

一 宗七條 宗色丸へし

宗色丸へし

一 宗八條 宗色丸へし

一 宗九條 宗色丸へし

一 宗

一 宗

宗色丸へし
宗色丸へし
宗色丸へし

多入職員

一 宗室亦被 宗室

一 第ニ條 諸士 福利 諸

一 兩調 色 〆 〆 〆

一 第ニ條 官 福利 先 〆 〆

一 適 〆 〆 〆

一 第ニ條 縁 負 調 通

刑 〆 〆 〆 〆

一 第ニ條 諸 〆 〆 〆 〆 〆 〆

一 第ニ條 兵 負 〆 〆 〆

〆 〆 〆 〆 〆

一 第ニ條 縁 負 調 〆

長 〆 〆 〆 〆

一 第ニ條 諸 〆 〆 〆

一 第ニ條 別 〆 〆 〆 〆

〆

一 第ニ條

〆 〆 〆 〆 〆 〆

一 第ニ條

〆 〆 〆 〆 〆 〆

〆 〆 〆 〆 〆 〆

〆 〆 〆 〆 〆 〆

〆 〆 〆 〆 〆 〆

〆 〆 〆 〆 〆 〆

一 第九條 別此以沙地之

一 第十條

高屋より人負申出の儀

一 第十一條

山権者より内一人を以

つらへし但し文代は藩ノ

便道に任すへし之御人

名目之奉じ定流石程

上より由御員迄の

一 第十二條 識有の御色

江より我朝系不稱

之し

別をいふ回

一 第十三條 解讀

一 第十四條 奉

之は是道一也

家の下下和
者之御経
之終ふへし

六月より藩
控す其の
之うハ名義
御方之御リ

九条別此以沙物之

十条

由屋より人負申出の儀

十一條

儀有る可し内一人は

へし但し文代は

以直に任へし公儀人

此月の奉定は

由儀員迄

上二条議有る御色

朝宗不稱

別をいふ回

外に解調通

今御成の奉定

此是通の

家内以下私家の儀あり
者との結は好む者あり
あり給ふへし

六月より廣くサ
控り知るもの人定儀
はうの者儀は
知り給ふり方口
御成